

## 令和3年度 第2 みなとデイサービスセンター 事業計画

## 社会福祉法人みなと寮

## 1. 法人の理念

- (1) 利用者一人ひとりの人格・人権を尊重し、自立支援を旨として社会福祉の増進に努めます。
- (2) 利用者本位の立場に立ち、常に笑顔でサービス提供し、顧客満足を追求します。
- (3) 「福祉の情報発信源」「地域交流の場」として地域福祉の拠点となり、社会貢献に尽くします。

## 2. 法人の基本方針

- (1) 積極的な情報公開を行い、透明性のある運営を行います。
- (2) 法令遵守に徹し、個人情報保護に努めます。
- (3) 職員は常に目標・ビジョンを持ち、継続的に業務改善に真摯に取り組み、自己改革・自己実現を目指します。
- (4) 社会福祉法人としての専門性を生かし、常に「well being」を実践しつづけます。

## 3. 事業所の基本方針

指定地域密着型サービスに該当する第2 みなとデイサービスセンターは、第2 愛港園に認知症デイ専有区画を設け、より落ち着いた環境で、より専門性の高い個別のケアサービスを提供していきます。日々のレクリエーション・機能回復訓練を取り入れた日常生活リハビリ等を積極的に実施することで、利用者の皆様が落ち着かれ満足できる楽しいひと時を提供していきます。

## 4. 運営指針

法人理念・基本方針を基軸に、変化する社会福祉関連法などを正確に熟知し、適切なサービスを提供していきます。また、有事の際にも業務を継続する体制整備を強化し、安全・安心なサービスを提供します。

- (1) 短期運営指針・数値目標

## 【経営】

安定的な経営基盤の確保のため、利用率 70%以上を目指しサービスの向上と運営の健全化を図っていきます。

## 【利用者サービス】

定員 12 名という小規模な特性を生かし、利用者個々に寄り添ったサービスの提供を心がけ、介護者の負担軽減を図り住み慣れた地域で生活が続けられるよう関係機関とも連携したサービスの構築に努めていきます。

また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策を強化していきます。

## 【地域公益活動】

デイサービス事業者連絡会や地域における関係者との連携の中で課題を発見し、地域における様々なニーズにきめ細かく柔軟に解決していくために有する機能を最大限に提供していきます。

## 【職員確保と育成】

法人本部と連携し各学校への訪問、広告媒体やホームページの活用等により介護・看護職員を確保していきます。人材育成の目的は介護の質の向上であり、法人の理念・基本方針を理解し、事業所の使命・達成すべき個人の目標を的確に把握し、継続的に改善していくことで組織の一員となれるよう個人を育てていきます。

## 【数値目標】

- ①利用率 70%以上の維持による安定運営
- ②身体拘束ゼロ宣言（身体拘束廃止推進活動）

- (2) 中長期運営指針

認知症を抱えても自宅等住み慣れた生活の場で自分らしい生活が継続できるよう、関係機関との連携を強化し穏やかで安心して過ごすことができる体制を構築していきます。

また、認知症ケアについての知識と技術を学び専門的な認知症ケアを継続して提供するとともに、常に安定した運営ができるようにインターネット等による情報公開と情報発信に努め、サービス内容について定期的に見直し充実を図っていきます。

## 5. 介護サービスの基本的な考え方

- (1) 利用者満足度の追求・苦情への対応

利用者が可能な限り居宅において日常生活を送ることができるよう日常生活上の援助及び機能訓練を行うことにより、生活機能の維持・向上を目指します。サービス内容についてはアンケート調査を実施するとともに、事業所内に意見箱を設置し苦情や要望が出しやすい環境を整備します。

- (2) 健康維持管理サービス

事業所来所時、入浴等身体への負担が大きいプログラムの前に、または利用者の状況に応じ随時実施します。脱水症状防止、血液疾患予防の為、入浴後及び利用中4回の水分補給を行い、利用中には看護職員が体調管理を行います。また、バイタルや疾患の有無については、ご

家族に報告し必要な処置を行う等して心身や疾患の改善に努めていきます。

### (3) 食事サービス

食卓の雰囲気や気を配り、利用者の嗜好や季節の食材を生かした献立を適温で提供するとともに治療食や嗜好による代替食など利用者の状況にあった食事を、和やかな雰囲気の中で食べていただけるようにします。

### (4) リハビリ

障害の軽減と残存機能の向上による生活の質の改善には、リハビリテーションの実施が有効です。介護は生活を支えることにあり、リハビリは日常生活動作を改善してその人なりの生活を楽しむことができるように応援することにあります。リハビリの有効性を認識した上で、個別の機能訓練を実施し、日常生活に活かしていただける事で在宅生活の継続を支えていきます。

### (5) 余暇活動等

カラオケ、塗り絵、輪投げ、散歩、将棋、等を通じて心身機能の維持向上、他者との交流をもつことにより、社会的役割意識の獲得と孤立感の解消を図っていくとともに、音楽鑑賞や工作等のプログラムにより精神面の安定を促します。また、個別のケアや各種療法を取り入れる事で身体的・精神的な中核症状から伴う周辺症状（行動・心理症状：BPSD）の予防的タイミングや安定を図る様なプログラムも取り入れていきます。

### (6) サービス向上

サービスの資質向上にむけ、事業所内外の研修に積極的に参加できるよう努力します。研修項目として「認知症の研修、個人情報保護（プライバシーの保護）の研修、身体拘束排除のための研修、倫理・法令遵守（コンプライアンス）、感染症及び食中毒に関する研修、人権研修等」を実施し、研修等で得た情報は、報告・伝達を確実に職員全員のものになるようにします。

### (7) 人権重視のサービス提供（身体拘束ゼロ・虐待防止の推進）

高齢者に対する虐待は家庭や施設等で身近な問題として存在します。「高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律」に基づき、誰もが直面し得る人権問題として捉えるとともに、特に介護に携わる専門職は、高齢者の尊厳を支える利用者本位のより良いケアの実現を目指すことが求められており、この問題を充分認識し、高齢者虐待の防止に積極的に取り組んでいきます。また、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為は行わないものとします。

## 6. 配置される職員体制について

認知症ケアではその人を中心にしたケアの重要性が指摘されており、介護の専門職が個人の尊厳を損なわず、個人を尊重したケアを実践することを指しており、利用者の尊厳を基本とした基本理念の実践が職員に求められています。基本理念の実践は、継続的・計画的に教育していくことで培われサービスの向上につながっていきます。

### (1) 会議・委員会・研修・資格

#### 【法人】

法人全体での経営状況の検討や収支報告、課題検討、福祉情報の共有などを目的に各種会議を設けています。

#### ①毎月開催会議

- ・法人内施設連絡会議
- ・介護保険事業部会議
- ・研修企画部会議

#### 【事業所内】

事業所の方向性や直面する課題解決のため協議できる場を設け、分析や見直し作業を実施していきます。

#### ①毎月開催会議

- ・職員会議・サービス検討会議・ケース会議・職員研修

②運営推進会議を年2回開催し、利用者及びその家族・関係者、地域包括支援センター職員、港区社会福祉協議会職員、地域住民代表2名、区内の小規模多機能型居宅介護所長、法人の役員、スタッフが参加し、利用者の生活支援・認知症対応型通所介護の運営等について建設的な意見交換を行っていきます。毎回広報誌「みなとの風」を発行し、近況報告を行う等内容の充実を図っていきます。

### (2) 法人内事業部・事業所間の連携

法人内事業部（介護保険、生活福祉、研修企画）間での連携により法人としての方向性を確認し、今後の進むべきあり方を日々研鑽し創造していきます。また、法人のスケールメリットを活かし、どんな福祉相談に対しても対応し、必要機関に繋げることでできる地域の福祉拠点を目指します。

## 7. 危機管理

### (1) 事故防止等安全対策

利用者に重大な被害を及ぼす事態やおそれがある場合、利用者の生命や身体及び安全を守ることに徹します。また、サービスを提供するにあたり事故ゼロ報告を活用し、リスク要因の収集に努めるとともに、事故発生時においても分析による迅速な改善策を講じていきます。

### (2) 個人情報保護・情報管理の徹底

介護サービスを提供するにあたり、利用者本人やキーパーソンとなる家族からセンシティブな情報を入手することは少なくありません。サービス実施の上で必要な情報には、扱いを間違えると悪用されるような個人情報まで含まれていますので、特に取り扱いには注意を払う必要があります。法人規程や取り扱いマニュアルに則り徹底した情報管理を行います。事業所内PCには情報セキュリティソフトを導入し、データ操作のログ管理をおこない万が一の情報漏洩時にはそのポイントを特定できるように対策を十分に行っていきます。

(3) 防災災害等緊急時の対応

台風や地震などの突発的な災害時にも全ての職員が迅速かつ適切に対応できるよう業務継続計画（BCP）をもとに訓練を行います。

また、災害時の被害を最小限にとどめるため、通報連絡・避難誘導・消火の総合訓練を実施します。同一敷地内の港地域在宅サービスステーション、愛港園、ときめきと相互に応援態勢が取れるよう連携を強化していきます。

(4) 防犯に関する対策

外部からの不審者の侵入や事業所内備品の盗難など防犯への対策として施錠や巡回の強化を図り、同一敷地内の施設と連携を取っていきます。

## 令和3年度 第2 みなとデイサービスセンター

	食 事 サ ー ビ ス		災 害 対 策
	栄 養 関 係	特 別 献 立	
4月	嗜好調査	花祭り 誕生会 (ティータイム)	管理者教育 新職員研修 防災設備総合機器点検
5月	残食調査	こどもの日 誕生会 (ティータイム)	緊急時の対応及び救命 講習・AED使用方法
6月	食中毒防止強化月間 食事形態チェック	誕生会 (ティータイム)	
7月	嗜好調査	七夕 土用の丑 誕生会 (ティータイム)	
8月	帰省時の栄養指導 残食調査	納涼会 誕生会 (ティータイム)	合同消防訓練
9月	食中毒防止強化月間	十五夜 敬老の日 誕生会 (ティータイム)	防災月間
10月	嗜好調査	ハロウィン 誕生会 (ティータイム)	
11月	残食調査	誕生会 (ティータイム)	非常災害時(火災・地震) の対応について
12月	食中毒防止強化月間	冬至 クリスマス 誕生会 (ティータイム)	年末年始災害防止 特別警戒
1月	嗜好調査	元旦 七草 誕生会 (ティータイム)	年末年始災害防止 特別警戒
2月	残食調査	節分 バレンタイン 誕生会 (ティータイム)	
3月	食中毒防止強化月間	ひな祭り 誕生会 (ティータイム)	
定 例	ティータイム(毎日2回) 手作りおやつ (月1回)		防災会議(年2回) 防災基本訓練(年2回) 防災設備自主点検 (月1回)

令和3年度 第2 みなとデイサービスセンター  
内部研修会

	研 修 内 容
4月	認知症介護基礎研修
5月	緊急時(利用者急変時)の対応及び救命講習・AED使用方法
6月	食中毒について
7月	介護技術向上に向けての取り組み①(排泄介助)
8月	身体拘束廃止に向けての様々な取り組みについて(人権研修)
9月	介護技術向上に向けての取り組み②(入浴・更衣・移乗)
10月	感染症予防及び対策について
11月	非常災害時(火災・地震)の対応について
12月	リスクマネジメント(介護事故について)
1月	令和4年度事業計画について
2月	生活支援員(介護職員)に求められる倫理観について高齢者虐待(人権研修)
3月	介護技術に向けての取り組み③(食事介護)